

特許紹介

特 許 / 第2648967号

発明の名称 / 電動シャッターの開閉制御装置

発 明 者 / 安田 徹
安達 隆義

【従来の技術とその問題点】

従来、電動シャッターの上、下限停止位置を設定する場合は、シャッター開閉機内に設けたリミットスイッチにより行っていた。そして、電動シャッターの上、下限停止位置の設定に際しては、シャッターの設置後シャッター開閉機が取り付けられている天井裏等に上り、シャッターの操作スイッチとリミットスイッチを交互に操作しながら、上限、下限のリミットスイッチの取付位置を調整していたので、調整作業は非常に手間がかかり面倒であった。

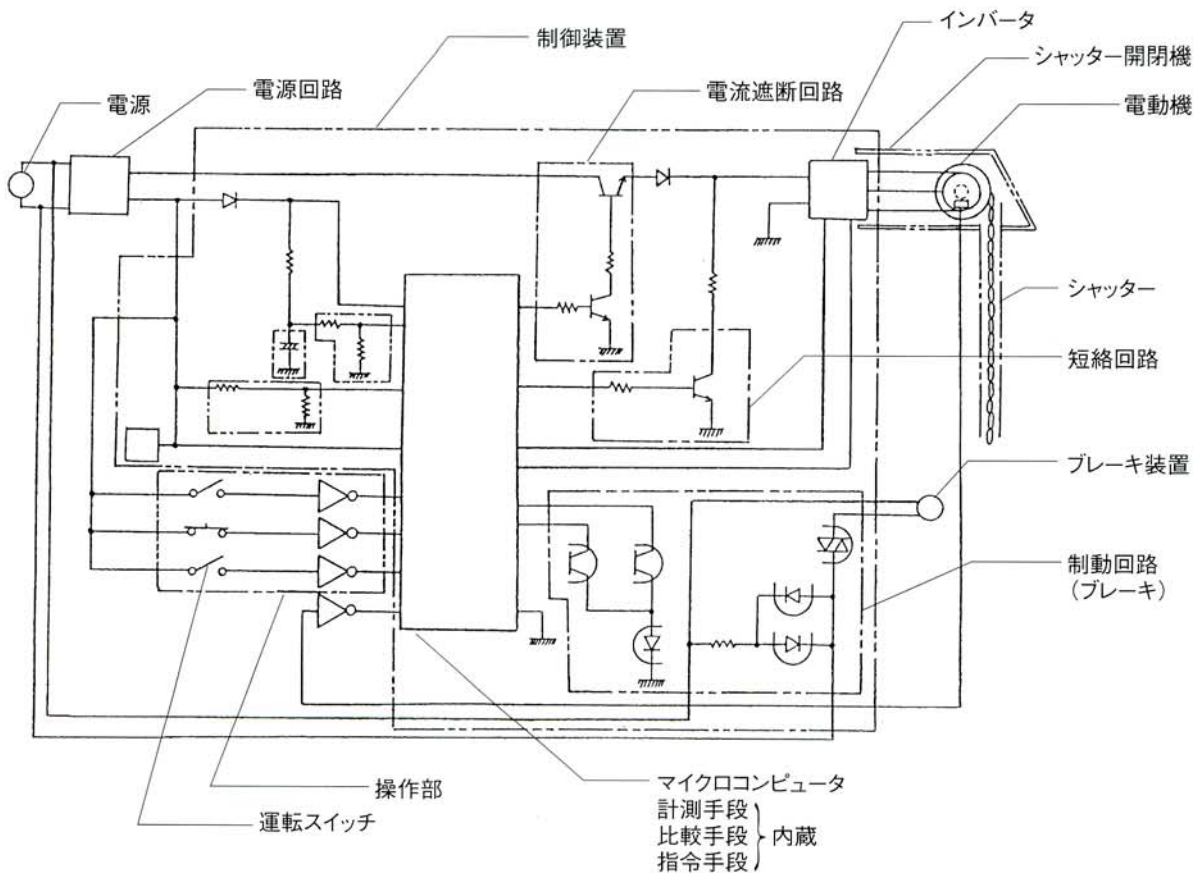
【発明の構成】

この発明は、電動シャッターの設置後その上、下限位置の設定を地上で行うようにしたもので、マイクロコンピュータを内蔵した制御装置に、電動機の回転数をカウントしてシャッターの現在位置を計測する手段と、計測手段のデータとあらかじめ設定したシャッターの上限、下限停止位置を設定した設定値とを比較する手段と、比較手段

による比較結果に基づき電動機に駆動・停止の指令を出力する手段と、ブレーキ装置への通電を切替える制動回路に通電切換指令を出力する手段とを具備させ、シャッターの停止位置を設定する場合は、シャッターを所定の上限及び下限停止位置まで移動させたときの電動機の回転数をマイクロコンピュータのデータメモリに記憶させる。これにより、電動機が所定の回転数を回転すると、シャッターを確実に所定の上下限位置で停止させることができる。また、シャッターを途中で停止させるときは、操作部の運転スイッチを操作することにより上、下限停止位置の範囲内で任意に停止させることができる。

【発明の効果】

電動機の回転数を電氣的に計測してシャッターの上、下限停止位置を判断する手段の採用により、シャッターの上、下限停止位置の設定作業が、地上において迅速・容易に、しかも、正確に行うことができる。



開閉制御装置の電気回路図